

## 鈴鹿8時間耐久ロードレースにおける当社サポートチーム「ヨシムラレーシングチーム」の優勝について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、かねてから「ヨシムラSUZUKI with JOMOLレーシングチーム」を、燃料供給等でサポートしておりますが、7月26日から7月29日にかけて開催された鈴鹿8時間耐久ロードレース第30回記念大会(以下「鈴鹿8耐」)において、第1回大会、第3回大会に続き、27年ぶり3回目の優勝の栄冠を見事勝ち取りました。
2. 本年度の鈴鹿8耐は、第30回という記念大会でありましたが、「ヨシムラSUZUKI with JOMOLレーシングチーム」は、この記念すべき大会での優勝を目指し、強力なライダー5名を揃え、例年より1台増車して2台体制で臨みました。その結果、2台とも完走し、1台(ゼッケン34番)は優勝、もう1台(ゼッケン12番)も4位という好成績を収めることができました。特にゼッケン34番は、予選3位の位置から、好スタートで第1コーナーでトップに立ち、その後一度もトップを譲ることなく、ゴールを迎えました。皆様からの熱い応援に対しまして深く感謝申し上げます。

### ● (ご参考)「ヨシムラSUZUKI with JOMOLレーシングチーム」の体制

チーム総監督	加藤陽平
チームマネージャー	村田俊弘
主なメカニック	エンジン担当:鈴木正人 シャーシ担当:高良友三、今野岳
ライダー	マシンNo.12:渡辺篤、酒井大作、青木宣篤 マシンNo.34:秋吉耕佑、加賀山就臣
マシン	ヨシムラSUZUKIGSX-R1000(K7)鈴鹿8耐JSBクラス仕様

以上



ゼッケン34番のレース模様



優勝トロフィーを掲げる加賀山・秋吉両ライダー